

IP テレフォニーシステム CL シリーズ

CL170 シリーズ

電話機の使いかた



技術基準適合認証品

このたびは、「IP テレフォニーシステム CL シリーズ CL170 シリーズ」をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書には本製品を安全に使用していただく為の重要な情報が記載されています。

本書は、実際に電話機を使っていただく方を対象に書かれています。

本製品を使用する前に本書をよく読み、理解した上で、お使いください。

また、本書は本製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。

富士通は、使用者および周囲の方に人身損害や経済的損害を与えないために細心の注意を払っています。
本書にしたがって本製品を使用してください。

FUJITSU

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、当社の担当営業までご相談ください。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

●この電話機システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外ではご利用できません。

This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

●本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX 通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●本製品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。

●本製品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。

●本書の内容につきまして万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社窓口等へお申しつけください。

●製品の改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

発行元の許可なく本書の記載内容を複写、転写することを禁止します。

All Rights Reserved, Copyright® 富士通株式会社

安全にお使いいただくために必ずお読みください

● 本書について

本書には、本製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。本製品を使用する前に、本書を熟読してください。特に本書に記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解された上で本製品を使用してください。また、本書は大切に保管してください。

ここでは主な電話機の使いかたの一部をご説明しております。フリーサインボタン数、ディスプレイ表示内容等、詳しくは電話システム（Server）等に添付されている取扱説明書をご覧ください。

また、ご使用の電話システム（Server）のソフトウェアバージョンによっては、動作しないサービスがあります。お買い上げになった販売店等へお問い合わせください。

● 警告表示について

本書では、お客様の身体や財産に損害を与えないために、以下の警告表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



「△危険」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うような切迫した危険があることを示しています。



「△警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。



「△注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ること、当該製品自身、またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

● 安全上の注意事項

電話機について以下の注意事項をお守りください。

尚、以下の使用条件を厳守しなかった場合、お客様および周囲の方の身体や財産等、また、環境破壊による第三者の身体や財産等に予期しない損害を生じる恐れがあります。



(1) 使用方法について

使用上の注意

- ・ 本電話機に使用する AC アダプターは、指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用すると、発熱、破裂させる原因となります。
指定アダプター：FC820AC3



(1) 使用方法について

予想される誤った 使い方の注意

- ・ 電話機にお茶やコーヒーなどが入ったり、また濡らさないように、ご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機の近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品等、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機には、殺虫剤やヘアースプレー等がかからないようにしてください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機の開口部から、内部にクリップやホッチキスの針等の異物を差し込んだりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
- ・ 電子レンジや高圧容器に、電話機本体を入れないでください。電話機本体の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解・改造の禁止

- ・ 電話機を分解、改造しないでください。また、中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

接続機器の注意

- ・ 改造された機器をつながないでください。火災、感電、故障の原因となります。

配線ケーブル類の 注意

- ・ LAN ケーブル、AC アダプターを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ LAN ケーブル、AC アダプターの上に重いものを乗せないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ LAN ケーブル、AC アダプターを熱器具に近づけたり、燃えやすい物を置いたり、加熱させたりしないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電、故障の原因となります。
- ・ LAN ケーブル、AC アダプターは折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。コードが傷つき、火災、感電、故障の原因となります。

(2) 保守・点検について

点検（保守者）の 制限・禁止

- ・ 内部の点検、修理はお買い上げの販売店に依頼してください。ご自分で行うと、火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 万一、煙がでる、変なにおいがした場合には、電話機本体から LAN ケーブル、AC アダプターを抜いて、煙が出なくなるのを確認してお買い上げになった販売店等へお問い合わせください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

注意

(1) 使用方法について

使用環境の注意

- ・ 電話機を直射日光の当たる所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を極度に温度の高い所、低い所、温度変化の大きい所に置かないでください。故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を浴室等の湿気の高い所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機をホコリの多い所に設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機をジュウタンやカーペットのような静電気の発生しやすい物の上に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を硫黄ガスや車の排気ガス等、特殊ガスが当たる場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を海風が当たる場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

予想される誤った 使い方の注意

- ・ 電話機の上に物を置いたり、周辺に倒れやすい物を置かないでください。けが、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を壁掛けにして使うときは、落下にご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ・ 電話機を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ・ 電話機を通路に置かないでください。けがの原因となることがあります。

(2) 保守・点検について

点検・清掃について

- ・ 電話機に水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。放置すると火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー等の有機溶剤は避けてください。電話機が腐食、溶解して火災、感電、故障の原因となることがあります。

(3) 製品の廃棄

製品廃棄時の注意

- ・ 法人、企業のお客様が本製品を廃棄・リサイクルされる場合は、「富士通事業系 IT 製品リサイクルサービス」をご利用ください。詳しくは、下記の Web サイトをご覧ください。
(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>)
- ・ 本製品は、お客様固有のデータを登録または保有可能な製品です。製品内のデータ流出等の不測の損害等を回避するために、本製品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを消去する必要があります。詳しくは、お買い求めになった販売店へお申し付けください。

本書では、IP テレフォニーシステム CL シリーズ CL170 シリーズでご利用になれる基本的な機能について説明しています。
その他の機能や登録・設定については、システム管理者の方にお問い合わせください。

■本書の構成

1章 お使いになる前に	お使いになる前に、知っておいていただきたいことをまとめています。
2章 電話をかける / 受ける	電話をかけたり、受けたりする基本的な機能について説明しています。
3章 便利な使いかた	ワンタッチダイヤル等の、利用できる便利な機能について説明しています。
4章 電話帳機能を利用する	電話帳の使いかたについて説明しています。
5章 ユーザーデータ設定を行う	ユーザーデータの設定方法について説明しています。
6章 ご参考に	電話機の仕様や困ったときの確認方法等について説明しています。

■操作説明ページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

操作説明
順番に操作を説明しています。

3 便利な使いかた

三人で通話するには
(三者通話)

2人で通話しているときに、通話に加わってもらう相手呼び出して、3人でお話しすることができます。三者通話での相手は、専用線／内線／局線のいずれでもかまいません。

1 ハンドセットを上げます。

2 ダイヤルボタンで最初の方を呼び出します。

3 2人で通話しているときに会議ボタンを押します。

「ツツツツツ」という第2参加音を確認してください。会議ランプが赤で点滅します。

4 ダイヤルボタンで3人目の電話番号を押します。

5 保留 / 発信ボタンを押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

6 3人目の方とお話しします。

会議ランプが赤で点灯します。

7 会議ボタンを押します。

3人でお話しします。
会議ランプが緑で点灯します。

ワンポイント

● 三者通話時、ひとりが受話器を置くとき通常の二者通話になります。(会議参加者が受話器を置くと、会議が終了となります。)

お知らせ

● 会議ボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録はシステム管理者の方へお問い合わせください。

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作のアドバイス等の補足説明を示しています。

お知らせ
この表示は、製品を取り扱う上での注意事項を示しています。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	3
本書の見かた	6

1 お使いになる前に

セットを確認してください	8
各部の名前	
(CL170DAの外観図および各ボタンの説明)	9
各部の名前	
(CL170DBの外観図および各ボタンの説明)	10
各部の名前	
(CL170DCの外観図および各ボタンの説明)	11
ディスプレイの表示について	12
ディスプレイの角度を変えるには	13
電話機の角度を変えるには	13
ヘッドセットを接続する	14
ACアダプターを接続する	14
電話機の盗難防止について	15
カラーシートの使いかた	15
音量 / ディスプレイのコントラストを調節する	16
着信音量を調節する	16
スピーカの受話音量を調節する	16
ディスプレイの明るさを調節する	16
ハンドセット使用時の音量を調節する	16

2 電話をかける / 受ける

電話をかけるには	
(内線発信 / 局線発信 / 専用線発信)	17
内線発信	17
局線発信	17
専用線発信	18
ハンドセットを上げずにかける	18
ヘッドセットで相手にかける	19
もう一度同じ相手にかけるには (リダイヤル)	19
電話を受けるには (着信 / 保留 / 転送 / ピックアップ)	20
着信	20
ヘッドセットで電話を受ける	20
保留	20
グループ保留	21
転送	21
可変不在転送	22
話中転送	23
ピックアップ	24

3 便利な使いかた

ワンタッチダイヤルでかけるには	25
ワンタッチダイヤルを登録する	25
ワンタッチダイヤルでかける	26
三人で通話するには (三者通話)	27

ハンズフリーを使うには	28
ハンズフリーでかける	28
ハンズフリーで受ける	29
複数ログイン機能を使うには	30
ログインする	30
ログアウトする	31
ログインユーザボタンから発信する	32
シングルログイン機能を使うには	33
ログインする	33
ログアウトする	34
プレゼンスを使うには	35
プレゼンスボタンを登録する	35
プレゼンスボタンで電話をかける	36

4 電話帳機能を利用する

電話帳に登録するには	37
電話帳を検索するには	41
電話帳から発信するには	43
電話帳の内容を修正するには	44
電話帳の内容を削除するには	45
発信履歴を表示するには	46
着信履歴を表示するには	47
文字の入力について	48

5 ユーザーデータ設定を行う

自端末保留音の設定を行うには	49
LCDコントラストの設定を行うには	50
フォントの設定を行うには	51
着信音量の設定を行うには	52
スピーカ音量の設定を行うには	53
ハンドセット音量の設定を行うには	54
着信ランプの設定を行うには	55
ハンズフリー(マイクオン/オフ)の設定を行うには	56
着信音色の設定を行うには	57
マルチライン着信履歴の設定を行うには	58
ホットラインの設定を行うには	59
付加ダイヤルの設定を行うには	60
TSAPIの設定を行うには	61

6 ご参考に

単体現調について	62
設定データについて	65
増設について	67
故障かな?と思ったら	68
仕様	69

1 お使いになる前に

セットを確認してください

本装置には、以下のものが同梱されています。すべてそろっていることを確認してください。
また、以下の環境を確保して設置してください。

■本体



CL170DA (1 台)

または



CL170DB (1 台)

または



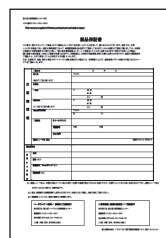
CL170DC (1 台)



安全にお使いいただくために (1 部)



使用許諾契約書 (1 部)



保証書 (1 部)

●セットに足りないものがあつたり、本書に誤字・脱字があつた場合は、お買い上げになった販売店へお問い合わせください。

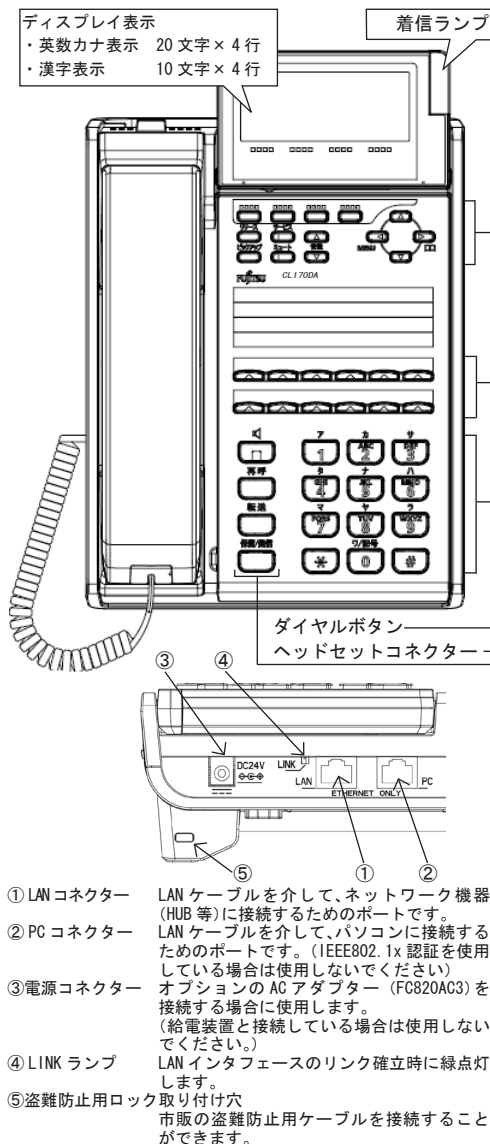
■環境条件

	温度 (°C)	湿度 (% RH)
動作時	0 ~ + 40	20 ~ 80 (結露なきこと)
保存時	- 20 ~ + 60	5 ~ 90 (結露なきこと)

1 お使いになる前に

各部の名前

< CL170DA の外観図および各ボタンの説明 >



MENU



ユーザデータの各設定などができます。
電話帳の登録、検索、発信操作ができます。

▲▼は選択肢の選択、漢字の変換に使用します。

◀▶は文字のカーソル移動に使用します。
ディスプレイの 4 段目に表示した内容を選択する場合に使用します。

■操作をしていない状態で、ディスプレイ表示の輝度を調節できます。

■通話中に、相手の声の大きさを調節できます。

■(スピーカボタン)を押したときに、スピーカからの音量を調節できます。

■呼出音が鳴っているときに呼出音の音量を調節できます。

固定機能ボタン

リリース 受話器を置かず電話を切り、続けて次の相手にダイヤルすることができます。

サービス ワンタッチダイヤルなどを登録するときに使用します。

ピックアップ 同一グループ内の他の電話機が鳴っているとき、このボタンの押下により応答することができます。

ミュート こちらの声を相手に聞こえないようにします。

固定機能ボタン

受話器を上げずに番号を押すことができます。

再呼 最後にかけた相手 (内線・外線・専用線) を呼び出すことができます。

転送 通話中の相手を転送するとき、このボタンの後に転送先の内線番号を押します。

保留 / 発信 通話中の相手を保留したり、ダイヤル後にボタンを押下することにより、相手呼び出すことができます。

フリーアサインボタン

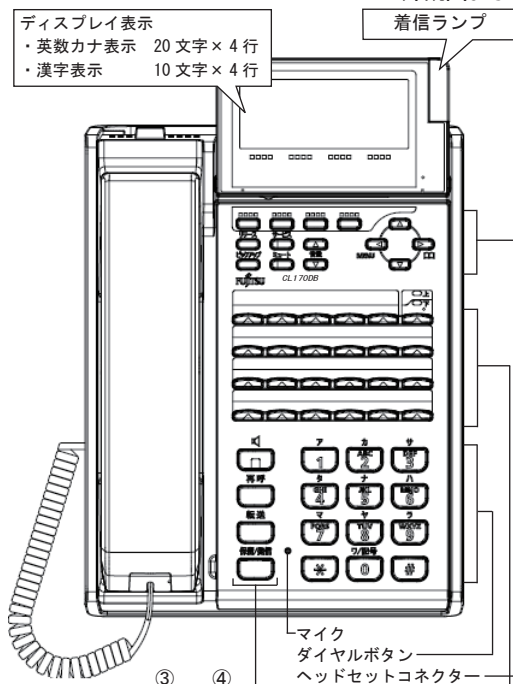
ワンタッチ、不在転送、会議、待合せ

プレゼンスなどの機能ボタンとして使えます。

1 お使いになる前に

各部の名前

< CL170DB の外観図および各ボタンの説明 >



MENU



ユーザデータの各設定などができます。
電話帳の登録、検索、発信操作ができます。



▲▼は選択肢の選択、漢字の変換に使用します。



◀▶は文字のカーソル移動に使用します。
ディスプレイの 4 段目に表示した内容を選択する場合に使用します。



■操作をしていない状態で、ディスプレイ表示の輝度を調節できます。



■通話中に、相手の声の大きさを調節できます。

■(スピーカボタン)を押したときに、スピーカからの音量を調節できます。

■呼出音が鳴っているときに呼出音の音量を調節できます。

固定機能ボタン

リリース 受話器を置かず電話を切り、続けて次の相手にダイヤルすることができます。

サービス ワンタッチダイヤルなどを登録するときに使用します。

ピックアップ 同一グループ内の他の電話機が鳴っているとき、このボタンの押下により応答することができます。

ミュート こちらの声を相手に聞こえないようにします。

固定機能ボタン



受話器を上げずに番号を押すことができます。また相手が出たら受話器を上げずにそのまま会話できます。(ハンズフリー機能)

再呼 最後にかけた相手(内線・外線・専用線)を呼び出すことができます。

転送 通話中の相手を転送するとき、このボタンの後に転送先の内線番号を押します。

保留/発信 通話中の相手を保留したり、ダイヤル後にボタンを押下することにより、相手呼び出すことができます。

フリーアサインボタン

ワンタッチ、不在転送、会議、待合せ

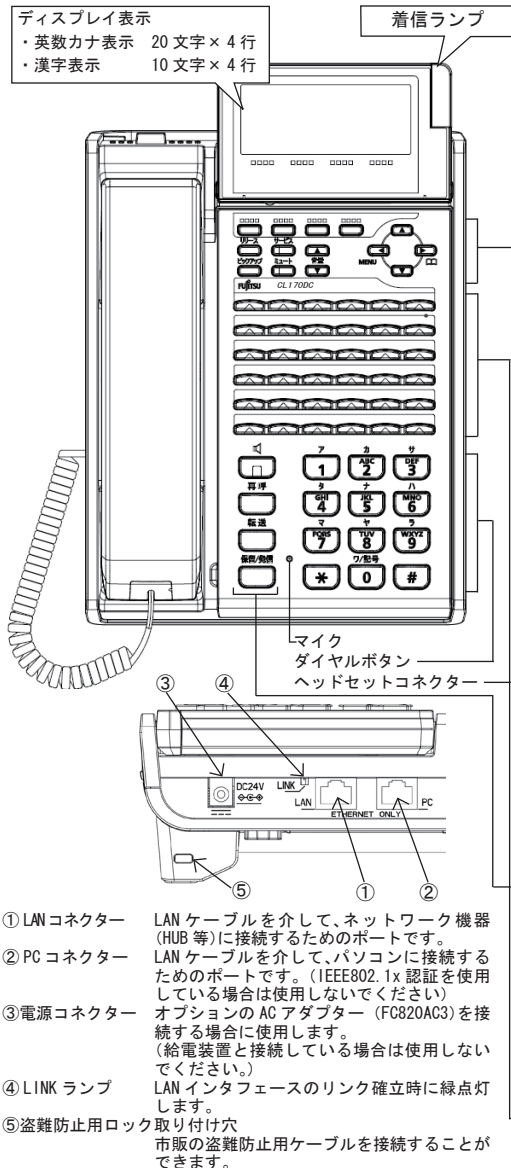
プレゼンスなどの機能ボタンとして使えます。

- ① LAN コネクター LAN ケーブルを介して、ネットワーク機器(HUB 等)に接続するためのポートです。
- ② PC コネクター LAN ケーブルを介して、パソコンに接続するためのポートです。(IEEE802.1x 認証を使用している場合は使用しないでください)
- ③ 電源コネクター オプションの AC アダプター (FC820AC3) を接続する場合に使用します。(給電装置と接続している場合は使用しないでください。)
- ④ LINK ランプ LAN インタフェースのリンク確立時に緑点灯します。
- ⑤ 盗難防止用ロック 取り付け穴 市販の盗難防止用ケーブルを接続することができます。

1 お使いになる前に

各部の名前

< CL170DC の外観図および各ボタンの説明 >



MENU



ユーザデータの各設定などができます。
電話帳の登録、検索、発信操作ができます。

▲▼は選択肢の選択、漢字の変換に使用します。

◀▶は文字のカーソル移動に使用します。
ディスプレイの 4 段目に表示した内容を選択する場合に使用します。

■操作をしていない状態で、ディスプレイ表示の輝度を調節できます。

■通話中に、相手の声の大きさを調節できます。

■(スピーカボタン)を押したときに、スピーカからの音量を調節できます。

■呼出音が鳴っているときに呼出音の音量を調節できます。

固定機能ボタン

リリース 受話器を置かずして電話を切り、続けて次の相手にダイヤルすることができます。

サービス ワンタッチダイヤルなどを登録するときに使用します。

ピックアップ 同一グループ内の他の電話機が鳴っているとき、このボタンの押下により応答することができます。

ミュート こちらの声を相手に聞こえないようにします。

固定機能ボタン

受話器を上げずに番号を押すことができます。また相手が出たら受話器を上げずにそのまま会話できます。(ハンズフリー機能)

再呼 最後にかけた相手(内線・外線・専用線)を呼び出すことができます。
転送 通話中の相手を転送するとき、このボタンの後に転送先の内線番号を押します。

保留/発信 通話中の相手を保留したり、ダイヤル後にボタンを押下することにより、相手を呼び出すことができます。

フリーアサインボタン

ワンタッチ、不在転送、会議、待合せ

プレゼンスなどの機能ボタンとして使えます。

1 お使いになる前に

ディスプレイの表示について

■カレンダー時刻表示

時間	11:59 PM 12月31日 [月]
2000	発歴 着歴

自分の内線番号 午前:AM 月日 曜日
午後:PM

11:59 PM 12月31日 [月]
Fujitsu 発歴 着歴

ディスプレイネーム設定を行っている場合にのみ表示されます。
設定は、システム管理者の方へお問い合わせください。

未確認の不在着信がある場合は、「着歴」が網掛け表示になります。

■着信時の表示

(局線/専用線着信した時)

- ・発信電話番号表示サービス対応なしのとき

GATEWAY2322	
11:59 PM 12月31日 [月]	
2000	発歴 着歴

ゲートウェイの装置番号

(内線着信したとき)

2001
11:59 PM 12月31日 [月]
2000 発歴 着歴

相手の内線番号

- ・発信電話番号表示サービス対応ありのとき

0312345678	
11:59 PM 12月31日 [月]	
2000	発歴 着歴

相手の番号

■発信時の表示

- ・局線/専用線発信したとき

00312345678
呼出中

相手の番号

■通話時間の表示

- ・局線/専用線発信したとき

00312345678
00:00:05

通話時間

■ネームディスプレイ

- ・あらかじめ電話帳に名前と電話番号を登録しておくと、着信時のディスプレイに、相手の名前が表示されます。たとえば、内線着信時の表示は下記のように表示されます。

2001
11:59 PM 12月31日 [月]
富士通太郎
2000 発歴 着歴

■エラー表示

- ・電話システム (Server) に接続し、登録に失敗したときや時刻情報を入手失敗したときは下記のように表示されます。

ネットワーク登録失敗	
2000	発歴 着歴

電話システム (Server) に登録失敗

電話システム (Server) から時刻情報を入手失敗

1 お使いになる前に

ディスプレイの角度を変えるには

ディスプレイの表示内容が見えにくい場合は、ディスプレイ表示部を立ててご使用になると見やすくなります。

■ディスプレイ表示部を立てて使用する

- 1 ディスプレイ表示部を持ちます。
- 2 ディスプレイ表示部の上部を手前へ引くように動かします。



△注意 指や爪などをけがしないようご注意ください。

電話機の角度を変えるには

チルト足を立てることで、電話機の角度を変えてご使用になることができます。

■チルト足を立てて使用する

- 1 チルト足を持ち上げます。
- 2 チルト足を電話機側へ押し込みます（カチッ音が聞こえ、固定されます）。



△注意 指や爪などをけがしないようご注意ください。

1 お使いになる前に

ヘッドセットを接続する

ヘッドセットをご使用になるには、接続した後に設定が必要です。ヘッドセットの設定をすると、ハンドセットを上げずにお話できます。(→ P. 19, P. 20)

■ヘッドセットを接続する

- 1 ヘッドセットをヘッドセットコネクタに接続します。
- 2 余ったヘッドセットコードをコード押さえに通します。



AC アダプターを接続する

オプションの AC アダプター (FC820AC3) を接続する場合に使用します。
(給電装置と接続している場合は使用しないでください。)

■ AC アダプターを接続する

- 1 AC アダプターを電源コネクタに接続します。
- 2 余った AC アダプターコードをコード押さえに通します。



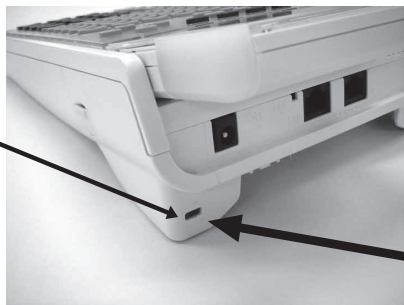
1 お使いになる前に

電話機の盗難防止について

盗難防止用ロック取り付け穴に市販の盗難防止用ケーブルを接続することができます。
施錠・開錠については、盗難防止用ケーブルに記載されている使用方法をご確認ください。

■盗難防止用ケーブルを接続する

盗難防止用
ロック取り付け穴

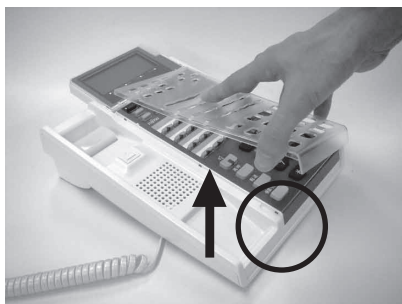


盗難防止用ケーブルを
盗難防止用ロック取り
付け穴に接続します。

カラーシートの使いかた

透明パネルの下にカラーシートが入っています。
カラーシートには、フリーアサインボタンに設定した内容（ワンタッチダイヤルの宛先など）を記入してご使用になれますと便利です。
また、添付していますキー表示シールもご利用ください。
透明パネルを外す場合は、下図のように電話機の手前側（○で囲んでいる部分）を矢印方向に透明パネルを上げると簡単に取り外すことができます。

△注意 透明パネルを取り外す場合は指や爪などをけがしないようご注意ください。



1 お使いになる前に

音量／ディスプレイのコントラストを調節する

音量ボタン（▲▼）を使用することにより、音量やディスプレイのコントラストを調節することができます。

着信音量を調節する

音量は4段階から調節できます。
着信音が鳴っているときに操作します。

1 音量ボタンの▲▼を押して音量を調節します。

音量ボタンを押すごとに音量が変わります。
音量を上げるときは▲を押します。
音量を下げるときは▼を押します。



スピーカの受話音量を調節する

受話音量は8段階から調節できます。
スピーカ受話中に操作します。

1 音量ボタンの▲▼を押して音量を調節します。

音量ボタンを押すごとに音量が変わります。
音量を上げるときは▲を押します。
音量を下げるときは▼を押します。

ディスプレイの明るさを調節する

ディスプレイのコントラストは8段階から調節できます。

1 音量ボタンの▲▼を押して明るさを調節します。

音量ボタンを押すごとにディスプレイのコントラストが変わります。コントラストを濃くするときには▲を押します。薄くするときには▼を押します。

ハンドセット使用時の音量を調節する

受話音量は6段階から調節できます。

1 音量ボタンの▲▼を押して音量を調節します。

音量ボタンを押すごとに音量が変わります。
音量を上げるときは▲を押します。
音量を下げるときは▼を押します。



お知らせ

- 次に操作するまで、何回着信があっても同じ音量で着信します。
- 着信音量／受話音量が「最大」または「最小」になると、それ以上音量ボタンを押しても音量は変わりません。
- 「MENU」ボタンを押して設定メニュー画面に入ると、音量ボタンによる音量／ディスプレイのコントラストの調節はできなくなります。ご注意願います。

2 電話をかける / 受ける

電話をかけるには
(内線発信 / 局線発信 / 専用線発信)

内線発信

- 1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

- 2 ダイヤルボタンで内線番号を押します。



- 3 保留 / 発信ボタンを押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。



- 4 相手の方が出たらお話しします。

局線発信

- 1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

- 2 ダイヤルボタンで局線発信特番（たとえば **0**）を押します。

- 3 ダイヤルボタンで相手の番号を押します。



- 4 保留 / 発信ボタンを押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。



- 5 相手の方が出たらお話しします。



ワンポイント ■■■■■■■■■■

- 最後のダイヤル後、保留 / 発信ボタンを押さなくても一定時間（約 4 秒）で自動的に発信します。

2 電話をかける / 受ける

専用線発信

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2 ダイヤルボタンで専用線発信特番
(たとえば) を押
します。

3 ダイヤルボタンで内線番号を押します。



4 保留 / 発信ボタンを押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。



5 相手の方が出たらお話しします。

ハンドセットを上げずにかける

1 スピーカボタンを押します。

スピーカランプと内線ランプが点灯します。
「ツーツー」という発信音を確認してください。



2 ダイヤルボタンで内線番号を押します。



3 保留 / 発信ボタンを押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。



4 相手の方が出たらハンドセットを上げてお話しします。



ワンポイント ■■■■■■■■■■

- ハンズフリーに設定すると、ハンドセットを上げずにマイクとスピーカでお話できます。(→ p. 28)

電話を受けるには
(着信 / 保留 / 転送 / ピックアップ)

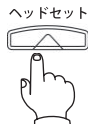
1 着信音が鳴ります。

2 ハンドセットを上げてお話しします。

1 着信音が鳴ります。

2 ヘッドセットボタンを押します。

ヘッドセットランプが赤で点灯します。
ヘッドセットがコネクターに接続していることを確認してください。



3 スピーカボタンを押してお話します。

スピーカランプが赤で点灯します。



- ヘッドセットボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者の方へお問い合わせください。

相手の方とお話中に、調べもの等で通話を一時保留することができます。保留中は相手の方には保留メロディが流れます。

■通話中に

1 保留 / 発信ボタンを押します。

内線ランプが点滅します。



2 ハンドセットを置きます。

3 通話に戻るときはハンドセットを上げ、内線ボタンを押します。

内線ランプが点灯します。



- 着信音がリング着信音で鳴動している場合、内線と局線のどちらの着信かは着信音の違いでわかります。

内線：着信音が断続します。

トウルトウル（休止） トウルトウル

局線：着信音が連続します。

トウルルルル（休止） トウルルルル

- ヘッドセットランプが赤で点灯していても、スピーカランプが消灯している場合は、ハンドセットでお話いただけます（ヘッドセットではお話しできませんので、ご注意ください）。

2 電話をかける / 受ける

グループ保留

グループ保留にしておくと、ほかの人も保留に応答
できます。

■通話中に

1 保留 1 ボタンを押します。

保留 1 ボタンが点滅します。



2 ハンドセットを置きます。

グループ内の相手に口頭でグループ保留番号を知らせます。



＜呼び出された方＞

1 ハンドセットを上げます。

2 点減している保留1ボタンを押してお話します。



お知らせ

- グループ保留ボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者の方へお問い合わせください。

転送

■通話中に

1 転送ボタンを押します。

「ツーツツツ」 という第2発信音を確認してください。相手の方には保留メロディが流れます。



2 ダイヤルボタンで転送先の内線番号を押します。



3 保留 / 発信ボタンを押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。



4 転送先の方が応答したら転送することを伝えます。

5 ハンドセットを置きます。



ワンポイント ■■■■■■■■■■

- 手順4で転送先が応答しないときは、転送ボタンを押すと相手の方との通話に戻ります。
- 転送先が応答する前にハンドセットを置くことはできません。呼返音が鳴りますのでハンドセットを上げて相手の方との通話に戻ってください。

2 電話をかける / 受ける

可変不在転送

■登録するとき

席を離れるときに他の電話機に自動的に転送されるよう登録しておきます。

1 スピーカボタンを押します。

スピーカランプが赤で点灯します。
「ツーツー」という発信音を確認してください。



2 不在転送ボタンを押します。

不在転送ボタンが赤く点滅します。



3 ダイヤルボタンで転送先番号を押します。



4 保留 / 発信ボタンを押します。

「トウトウトウ」という確認音が聞こえます。
不在転送ボタンが赤く点灯します。



5 スピーカボタンを押します。

スピーカランプが消灯します。

■解除するとき

可変不在転送を解除します。

1 スピーカボタンを押します。

スピーカランプが赤で点灯します。
「ツツツツツ」という第2発信音を確認してください。



2 不在転送ボタンを押します。

「トウトウトウ」という確認音が聞こえます。
不在転送ボタンが消灯します。



3 スピーカボタンを押します。

スピーカランプが消灯します。



お知らせ

- 不在転送ボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者の方へお問い合わせください。

2 電話をかける / 受ける

話中転送

■登録するとき

話し中のときに他の電話機に自動的に転送されるよう登録しておきます。

1 スピーカボタンを押します。

スピーカランプが赤で点灯します。
「ツーツー」という発信音を確認してください。



2 話中転送ボタンを押します。

話中転送ボタンが赤く点滅します。



3 ダイヤルボタンで転送先番号を押します。



4 保留 / 発信ボタンを押します。

「トウトウト」という確認音が聞こえます。
話中転送ボタンが赤く点灯します。



5 スピーカボタンを押します。

スピーカランプが消灯します。

■解除するとき

話中転送を解除します。

1 スピーカボタンを押します。

スピーカランプが赤で点灯します。
「ツーツー」という発信音を確認してください。



2 話中転送ボタンを押します。

「トウトウト」という確認音が聞こえます。
話中転送ボタンが消灯します。



3 スピーカボタンを押します。

スピーカランプが消灯します。

● お知らせ

- 話中転送ボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者の方へお問い合わせください。

2 電話をかける / 受ける

ピックアップ

■ 同一ピックアップグループ内の他の電話機が鳴っているときに

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2 ピックアップボタンを押します。



3 相手の方とお話します。

お知らせ

- ピックアップボタンを押してから、相手の方とお話できるようになるまで約1秒ほど時間がかかる場合があります。ご注意ください。
- 他グループの電話機が鳴っているときに応答したい場合は、グループピックアップボタン+グループ番号を押下します。
- グループピックアップボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者の方へお問い合わせください。

3 便利な使いかた

ワンタッチダイヤルでかけるには

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておくくと便利です。
局線の電話番号や特番、内線番号、短縮番号を登録できます。
ワンタッチダイヤルには次の3種類があります。

ワンタッチダイヤルの種類	内 容
フリーワンタッチ発信	よく利用する特番および局線、専用線の相手先番号をボタンに登録して、ワンタッチで電話をかけるとき
内線ワンタッチ発信	内線番号をワンタッチボタンに登録して、ワンタッチで電話をかけるとき
短縮ワンタッチ発信	登録してある短縮番号をワンタッチボタンに登録して、ワンタッチで電話をかけるとき

ワンタッチダイヤルを登録する

フリーワンタッチ発信・内線ワンタッチ発信・短縮ワンタッチ発信に共通の操作です。

1 サービスボタンを押します。

サービスランプが点滅します。



2 上下ボタンで上段に登録するか下段に登録するかを選択します。

- ・上下ランプで選択側を表示します。
- ・CL170DA と CL170DC には上下ボタンはありませんので、手順1に続けて手順3へ進んでください。



3 登録するワンタッチボタンを押します。

フリーアサインボタンでワンタッチ登録に割り当てられている中から、登録するワンタッチボタンを選択します。詳しくはシステム管理者にお問い合わせください。

(例) 鈴木太郎



4 ダイヤルボタンで登録する番号を押します。

- ・フリーワンタッチ発信の場合は、局線発信特番（または専用線発信特番）－相手番号を押します。

ディスプレイ表示

ワンタッチ登録
00312345678_

- ・内線ワンタッチ発信の場合は、内線番号を押します。

ディスプレイ表示

ワンタッチ登録
2001_

- ・短縮ワンタッチ発信の場合は、短縮発信特番－短縮番号を押します。

ディスプレイ表示

ワンタッチ登録
623_

5 サービスボタンを押します。

サービスランプが消灯します。



お知らせ

- ワンタッチボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録はシステム管理者の方へお問い合わせください。

3 便利な使いかた



- ワンタッチボタン1つに上下2つまでの相手番号を登録できます。切り替えは上下ボタンで行います。
ただし、CL170DAとCL170DCではワンタッチボタン1つに1つの登録になります。
- 登録番号の入力を誤ったときはリリースボタンを押してください。入力を取り消すことができます。
- 連続して登録するときは手順2～4の操作を繰り返し行ってください。
- 登録した相手の名前などをキー表示シールに書いて、ワンタッチボタンの上または下に貼ってお使いください。
- ワンタッチダイヤルは最大32桁まで入力できます。



- 同じワンタッチボタンへ新たな番号を登録すると、以前に登録した相手番号は新しい番号に置き換わります。

ワンタッチダイヤルでかける

フリーワンタッチ発信・内線ワンタッチ発信・短縮
ワンタッチ発信に共通の操作です。

1 上下ボタンで上段、下段を選択します。

CL170DA と CL170DC の場合は手順 1 を省略して
手順 2 に進みます。



2 ワンタッチボタンを押します。

スピーカランプと内線ランプが点灯します。

(例) 鈴木太郎



3 保留 / 発信ボタンを押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

保留/発信



4 ハンドセットを上げます。

スピーカランプが消灯します。

5 相手の方が出たらお話しします。

3 便利な使いかた

三人で通話するには
(三者通話)

2人で通話しているときに、通話に加わってもらう相手
呼び出して、3人でお話することができます。三者通話
での相手は、専用線／内線／局線のいずれでもかまいません。

- 1 ハンドセットを上げます。
- 2 ダイヤルボタンで最初の方を呼び出します。
- 3 2人で通話しているときに会議ボタンを押します。

「ツーツツ」という第2発信音を確認してください。会議ランプが赤で点滅します。

議 会



- 4 ダイヤルボタンで3人目の電話番号を押します。

- 5 保留 / 発信ボタンを押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

保留/発信



- 6 3人目の方とお話しします。

会議ランプが赤で点灯します。

- 7 会議ボタンを押します。

3人でお話しします。
会議ランプが緑で点灯します。



ワンポイント

- 三者通話時、ひとりが受話器を置くと通常の二者通話になります。（会議招集者が受話器を置くと、会議が終了となります。）



お知らせ

- 会議ボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録はシステム管理者の方へお問い合わせください。

3 便利な使いかた

ハンズフリーを使うには

ハンズフリーでかける

ハンズフリー ON 設定の場合に限ります。

1 スピーカボタンを押します。

スピーカランプが赤で点灯します。



2 ダイヤルボタンで相手番号を押します。



3 保留 / 発信ボタンを押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。



4 相手の方が出たらお話しします。

(お話しが終わりましたら)

5 スピーカボタンを押します。

スピーカランプが消灯します。



お知らせ

- CL170DA ではハンズフリーを使用できません。CL170DB と CL170DC での設定方法については、(→ P. 56) を参照ください。

3 便利な使いかた

ハンズフリーで受ける

ハンズフリー ON 設定の場合に限ります。

1 着信音が鳴ります。

2 スピーカボタンを押します。

スピーカランプが赤で点灯します。



3 相手とお話します。

(お話しが終わりましたら)

4 スピーカボタンを押します。

スピーカランプが消灯します。

3 便利な使いかた

複数ログイン機能を使うには

システムとしてログイン専用端末を設けることにより、1台で最大12ユーザーが使用できるようになります。

ログインする

複数ロゲイン設定時の操作です。

1 ログインユーザボタンを押します。

ログインユーザ ID 入力画面が表示されます。



2 ダイアルボタンでログインユーザID
を押します。



ログインユーザ ID を入力し、「決定」ボタンを押します。

ログインユーザ ID は 32 桁まで入力できます。

3 ダイヤルボタンで自動ログアウト時間を押します。

自動ログアウト時間の単位は“時間”です。
時間を入力しないで「決定」ボタンを押すと、
初期値として3時間が設定されます。“0”時間
を設定すると、自動ログアウトはしませんので
ご注意ください。

「決定」ボタンを押します。ログインが完了し、カレンダー表示画面に戻ります。「ログインユーザ」ボタンのランプが赤で点灯します。ログインができない場合はエラー音が鳴り、カレンダー表示画面に戻ります。

ロク* インユ-ザ* ID 入力

戻る 消去 決定

1234

[戻る](#) [消去](#) [文字](#) [決定](#)

自動のアウト時間入力

戻る 消去 決定

お客様の
受付が完了しました

 お知らせ

- ログインユーザボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録はシステム管理者の方へお問い合わせください。
- 複数ログイン運用時にログインユーザが存在する場合には、ログインユーザのみ発着信が可能です。



ワンポイント ■■■■■■■■■■

- ログインユーザIDは32桁まで入力できます。

3 便利な使いかた

ログアウトする

ユーザがログインしている時の操作です。
「ログインユーザ」ボタンのランプが赤で点灯しています。

1 ログインユーザボタンを押します。

ログインユーザ ID 画面が表示されます。



「ログインユーザ」ボタンのランプが赤で点滅します。

2 ログアウトボタンを押します。

ログアウト中... の画面が表示されます。
ログアウトが完了し、カレンダー表示画面に戻ります。
「ログインユーザ」ボタンのランプが消灯します。

ログインユーザ ID
1234

[戻る](#) [ログアウト](#)

ログアウト中...

ログアウト
しました

お知らせ

- ログアウト操作中に、他のログインユーザボタンへ着信時の表示画面はログアウト画面のままです。着信呼に応答した時に画面が切り替わります。
- ログイン時、ログインユーザボタン着信中のログアウトはできません。
- ログイン中に他の複数ログイン設定した電話機から同じログインユーザ ID を使用してログインすると上書きログインとなり、ログイン中の電話機からはログアウトされます。

3 便利な使いかた

ログインユーザボタンから発信する

ログイン時の操作です。
「ログインユーザ」ボタンは赤で点灯しています。

「ログインユーザ」ボタンは赤で点灯しています。

ポストセレクション発信

- 1 ハンドセットを上げます。

ハンドセットからは何も聞こえません。

- 2 ログインユーザボタンを押します。

「ツーツー」という発信音を確認してください。



「ログインユーザ」ボタンのランプが緑点灯します。

- 3 ダイヤルボタンで相手先番号を押します。



- 4 保留 / 発信ボタンを押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。



- 5 相手の方が出たらお話しします。

プリセレクション発信

- 1 ログインユーザボタンを押します。



「ログインユーザ」ボタンのランプが赤点滅（約4秒間）します。

- 2 ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

「ログインユーザ」ボタンのランプが緑点灯します。

- 3 ダイヤルボタンで相手先番号を押します。



- 4 保留 / 発信ボタンを押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。



- 5 相手の方が出たらお話しします。



ワンポイント ■■■■■■■■■■

- 最後のダイヤル後、保留 / 発信ボタンを押さなくても一定時間（約 4 秒間）で自動的に発信します。



お知らせ

- ログインユーザボタンへの着信応答は、ハンドセットを上げるかスピーカボタンを押すと応答できます。

シングルログイン機能を使うには

ログインする



ワンポイント ■■■■■■■■■■

-

- シングルログイン機能を使用する場合は、設定が必要です。設定はシステム管理者の方へお問い合わせください。
- シングルログイン機能の場合、自分の内線番号が5桁以内の場合は画面左下に表示しますが、6桁以上の場合は表示しません。

3 便利な使いかた

ログアウトする

ユーザがログインしている時の操作です。

1 退出ボタンを押します。

ユーザ ID 画面が表示されます。

11:59PM 12月31日〔月〕

1234 退出 発歴 着歴

ユーザ ID

1234_

戻る

ログアウト

ログアウト

しますか？

はい

いいえ

ログアウト

しました

ユーザ ID 入力

数

消去 文字 決定

2 ログアウトボタンを押します。

ログアウトしますか？の画面が表示されます。
「はい」を選択するとログアウトが完了し、ユーザ ID 入力画面に戻ります。

「いいえ」を選択するとカレンダー表示画面に戻ります。



お知らせ

- ログイン時、着信中のログアウトはできません。
- ログイン中に他のシングルログイン設定した電話機から同じユーザ ID を使用してログインすると上書きログインとなり、ログイン中の電話機からはログアウトされます。ログアウトした電話機はユーザ ID 入力画面が表示されます。

3 便利な使いかた

プレゼンスを使うには

相手の内線番号をプレゼンスボタンに登録しておくと、相手が電話中かどうかランプで確認できます。

プレゼンスボタンを登録する

1 サービスボタンを押します。

サービスランプが点滅します。



2 登録するプレゼンスボタンを押します。

フリーアサインボタンでプレゼンス登録に割り当てられている中から、登録するプレゼンスボタンを選択します。詳しくはシステム管理者にお問い合わせください。

(例) 鈴木太郎



ディスプレイ表示

プレンス相手番号登録

3 ダイヤルボタンで登録する番号を押します。

相手の内線番号を押します。

ディスプレイ表示

フレッズ相手番号登録
2001_

4 サービスボタンを押します。

サービスランプが消灯します。



ワンポイント ■■■■■■■■■■

- 自分の内線番号は登録できません。
- プレゼンスボタン1つに1つの登録になります。
- 登録番号の入力を誤ったときは
リリースボタンを押してください。入力を取り消すことができます。
- 連続して登録するときは
手順2～4の操作を繰り返し行ってください。
- 登録した相手の名前などをキー表示シールに
書いて、プレゼンスボタンの上または下に
貼ってお使いください。
- プレゼンス相手番号は最大 32 桁まで入力
できます。



お知らせ

- プレゼンスボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録はシステム管理者の方へお問い合わせください。
- 同じプレゼンスボタンへ新たな番号を登録すると、以前に登録した相手番号は新しい番号に置き換わります。

3 便利な使いかた

プレゼンスボタンで電話をかける

プレゼンスボタンのランプが消灯していると、相手に電話をかけることができます。

1 プレゼンスボタンを押します。

スピーカランプと内線ランプが点灯します。
「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

(例) 鈴木太郎



2 ハンドセットを上げます。

スピーカランプが消灯します。

3 相手の方が出たらお話しします。

プレゼンスボタンのランプが赤く点灯します。



ワンポイント ■■■■■■■■■■

- 相手が通話中のとき、プレゼンスボタンのランプが赤く点灯します。プレゼンスボタンのランプが赤く点灯していると、相手に電話をかけることができません。
- ランプが赤く点灯しているプレゼンスボタンを押して電話をかけると、話中音が聞こえます。

4 電話帳機能を利用する

電話帳に登録するには

よく利用する電話番号を名前とともに最大 1,000 件 (2,000 電話番号) 登録できます。ひとりにつき、電話番号を 2 件登録できます。以下の設定もできます。

- グループに分けて登録できます。
グループの名前は変更できます。

1. メモリ登録の場合

- (1)  ボタンを押下して、「メモリ登録」を選択する。



ボタンの▲／▼で「メモリ登録」を選択し、「確定」ボタンを押下します。

フリガナ検索
グループ検索
メモリ登録
戻る 確定

- (2) 名前を入力する。(名前入力画面)

- 漢字、カタカナ、英字、数字を入力できます。
名前は全角で最大 10 文字、半角で最大 20 文字入力できます。

「富士通太郎」と入力する。

まず初めに、

- ①「富士通」を入力する。

「ふ」⇒ダイヤルボタン  を 3 回押します。

「し」⇒ダイヤルボタン  を 2 回押します。

「^」⇒ダイヤルボタン  を 4 回押します。

「つ」⇒ダイヤルボタン  を 3 回押します。

「う」⇒ダイヤルボタン  を 3 回押します。

「ふじつう」まで入力できたところで  ボタンの▲／▼で文字変換を行います。該当する文字が表示されたら「確定」ボタンを押下します。

名前：	漢
ふじつう	
戻る 消去 文字 確定	

名前：	漢
富士通	
戻る 消去 文字 確定	

名前：	漢
富士通	
戻る 消去 文字 確定	

- ②「太郎」を入力する。

「た」⇒ダイヤルボタン  を 1 回押します。

「ろ」⇒ダイヤルボタン  を 5 回押します。

「う」⇒ダイヤルボタン  を 3 回押します。

「たろう」まで入力できたら、 ボタンの▲／▼で文字変換を行います。該当する文字が表示されたら「確定」ボタンを押下します。更に「確定」ボタンを押下するとフリガナ入力画面に移ります。

名前：	漢
富士通	
たろう	
戻る 消去 文字 確定	

名前：	漢
富士通	
太郎	
戻る 消去 文字 確定	

- 入力するダイヤルボタンを押し間違えたときは、「消去」ボタンを押下すると 1 文字削除します。

名前：	漢
富士通太郎	
戻る 消去 文字 確定	

4 電話帳機能を利用する

(3) フリガナを入力する。

- 前ページ(2)名前入力で入力したカナが自動的に反映し表示されます。
内容を変更する場合には、ダイヤルボタンを使用して修正します。
- 修正が無い場合には、「確定」ボタンを押下します。
電話番号1入力画面に移ります。

フリガナ:	か
フジツタワ	
戻る	消去 確定

(4) 電話番号1を入力する。

- 電話番号は、半角32桁まで入力できます。
- 外線番号、例えば03-1234-5678を入力します。
入力例: 0312345678
- 電話番号1を入力しないで「確定」ボタンを押下すると電話番号2の画面へ移ります。
- 電話番号1の入力が終わったら、「確定」ボタンを押下します。
電話番号1の番号種別設定画面に移ります。ここでは、電話番号1で入力した番号が内線か外線かを設定します。(初期値:内線)
内線を選択し「確定」ボタンを押下した場合は、電話番号2入力画面に移ります。
外線を選択し「確定」ボタンを押下すると、電話番号1付加ダイヤル設定画面に移ります。ここでは、外線を捕捉する番号、例えば“0”を入力し、「確定」ボタンを押下します。電話番号2入力画面に移ります。
※付加ダイヤル番号は、最大5桁まで入力できます。

TEL1:	数
0312345678	
戻る	消去 確定

TEL1 番号種別設定	
1. 内線	
2. 外線	
戻る	確定

TEL1 付加ダイヤル設定	数
0	
戻る	消去 確定

(5) 電話番号2を入力する。

- 電話番号は、半角32桁まで入力できます。
入力方法については、上記(4)と同じです。
- 電話番号2の場合は、電話番号を入力しなくても「確定」ボタンを押下すると次の設定画面(グループ)に移ります。

TEL2:	数
00312340000	
戻る	消去 確定

※電話番号1,2どちらにも電話番号を入力していない場合は次の設定画面(グループ)へ移りません。

(6) グループを選択する。

- グループは最大10グループまで登録できます。
グループ名については、グループなし、グループ1~グループ9が入っています。
- グループの検索は、 ボタンの▲/▼で選択します。
登録したいグループを選択し、「確定」ボタンを押下します。

グループ:	
グループなし	
グループ1	
戻る	確定

(7) 着信音色を設定する。

- 着信音色は、 ボタンの▲/▼で選択します。
選択したい着信音色を選択し、「確定」ボタンを押下します。
- ※着信音色(標準)を選択した場合には、ユーザデータ設定の着信音色設定(P.57)で選択したメロディが着信時に鳴ります。

着信音色:	
着信音色(標準)	
花	
戻る	確定

※着信音メロディの種類については(P.57)を参照してください。

4 電話帳機能を利用する

(8) 着信ランプを設定する。

- 着信ランプは、 ボタンの▲／▼で選択します。
選択したい着信ランプを選択し、「登録」ボタンを押下します。

※着信ランプ（標準）を選択した場合には、ユーザーデータ設定の着信ランプ設定（P. 55）で選択した色が着信時に点滅します。

※着信ランプの種類については（P. 55）を参照してください。

着信ランプ :
着信ランプ（標準）
赤
戻る 登録

しばらく
お待ちください...

これで 1 件の電話帳の登録作業が完了となります。画面上に「登録しました 残り件数は xxx 件 です」が表示され、メニュー画面へ移ります。

登録しました
残り件数は xxx 件
です



お知らせ

- 電話帳登録制限機能を設定している場合は、電話帳に登録することができません。設定はシステム管理者の方へお問い合わせください。



お知らせ

- マルチラインの従回線（アザーライン）に着信があった時、電話帳登録で設定した相手の名前をディスプレイに表示したり、設定した着信音色で鳴らす機能を使用する場合は設定が必要です。設定はシステム管理者の方へお問い合わせください。

4 電話帳機能を利用する

2. グループ登録の場合

- (1)  ボタンを押下して、「グループ登録」を選択する。

 ボタンの▲／▼で「グループ登録」を選択し、「確定」ボタンを押下します。

- グループの登録は9件です。(1～9：グループ名登録可)
- 初期グループ名は、「グループ1」～「グループ9」となっています。
- グループ名は、全角最大10文字、半角最大20文字です。

グループ 検索
メモリ登録
グループ 登録
戻る 確定

グループ :
グループ 1
グループ 2
戻る 確定

- (2) グループ名を登録する。

ここでは「グループ1」のグループ名を「会社」と登録します。

- ① 「グループ1」を選択し「確定」ボタンを押下します。

「グループ1」の画面が表示されます。

グループ : 漢
グループ 1_
戻る 消去 文字 確定

- ② 「グループ1」を消去し、「会社」と入力します。

「か」⇒ダイヤルボタン  を1回押します。

「い」⇒ダイヤルボタン  を2回押します。

「し」⇒ダイヤルボタン  を2回押します。

「や」⇒ダイヤルボタン  を4回押します。

グループ : 漢
かいしや
戻る 消去 文字 確定

※文字を消去する場合、「消去」ボタンを一度押下すると1文字消去できます。

- ③  ボタンの▲／▼で文字変換を行います。該当する文字が表示されたら「確定」ボタンを押下します。

グループ : 漢
会社_
戻る 消去 文字 確定

- ④ 「グループ1」のグループ名が「会社」に確定されたことを確認し、もう一度「確定」ボタンを押下します。

画面上に「グループ 会社 を登録しました」が表示され、メニュー画面へ移ります。

グループ : 漢
会社_
戻る 消去 文字 確定

しばらく
お待ちください...

グループ
会社
を登録しました

4 電話帳機能を利用する

電話帳を検索するには

電話帳を検索する場合は、

1. クイック検索
2. フリガナ検索
3. グループ検索
4. 50音検索

の4つの検索手段があります。それぞれの検索方法について以下に示します。

1. クイック検索の場合

フリガナの頭文字が割り当てられている **0** ~ **WXYZ 9** (ア～ワ行) のボタンを押下することにより検索したい電話帳の名前を呼び出すことができます。文字の割り当てについては (P. 48) 「文字の入力について」の表をご覧ください。

- (1)  ボタンを押下します。

- (2) 検索したい名前(フリガナ)の頭文字が割り当てられているボタンを押下します。

例として「斉藤一郎」を検索します。

「サイトウイチロウ」を呼び出すために、頭文字の「サ」が割り当てられているダイヤルボタン **DEF 3** を1回押します。

「サ」から始まる名前の行が表示されます。

続けて同じボタンを押すごとに「サ→シ→ス→セ→ソ→サ…」

(**DEF 3** の場合) が頭文字にくる先頭の名前が表示されます。次の頭文字の名前が登録されていない場合はその次の頭文字の名前が表示されます。

画面に表示されない場合には  ボタンの▲／▼で検索します。

※他のボタンを押すと、そのボタンに割り当てられている文字の名前を呼び出すことができます。

(例 **1** を押下します。)

- (3) 検索した内容を確認したい場合には、「内容」ボタンを押下します。

 ボタンの▲／▼で表示されていない内容を確認することができます。

フリガナ検索

グループ登録

メモ登録

戻る

確定

斉藤一郎

清水一郎

鈴木一郎

戻る

消去

内容

阿部一郎

阿部二郎

伊藤三郎

戻る

消去

内容

名前: 斉藤一郎

フリガナ: サイトウイチロウ

TEL1: 0441234567

戻る

編集

▼: 名前⇒フリガナ⇒TEL1⇒TEL1 種別⇒TEL1 付加ダイヤル⇒TEL2⇒TEL2 種別⇒TEL2 付加ダイヤル⇒グループ⇒着信音色⇒着信ランプ⇒名前⇒…

▲: 名前⇒着信ランプ⇒着信音色⇒グループ⇒TEL2 付加ダイヤル⇒TEL2 種別⇒TEL2⇒TEL1 付加ダイヤル⇒TEL1 種別⇒TEL1⇒フリガナ⇒名前⇒…

4 電話帳機能を利用する

2. フリガナ検索の場合

- (1)  ボタンを押下して、「フリガナ検索」を選択します。

 ボタンの▲／▼で「フリガナ検索」を選択し、「確定」ボタンを押下します。

フリガナ検索	
グループ検索	
メモ登録	
戻る	確定

- (2) 検索したい文字から始まるフリガナが登録されている電話帳が表示されます。

例として「富士通太郎」を検索します。

ダイヤルボタン  を3回押します。

ダイヤルボタン  を2回押します。

ダイヤルボタン  を4回押します。

ダイヤルボタン  を3回押します。

ダイヤルボタン  を3回押します。

「フジツ」まで入力して「検索」ボタンを押下すると該当する名前が先頭に表示されます。

該当の名前がなかった場合は、その後の一番近い名前から表示されます。画面上に表示されていない場合には、 ボタンの▲／▼で検索します。

フリガナ:	か	
フジツ		
戻る	消去	検索

富士通太郎		
富士通花子		
富士通花実		
戻る	消去	内容

3. グループ検索の場合

- (1)  ボタンを押下して、「グループ検索」を選択します。

 ボタンの▲／▼で「グループ検索」を選択し、「確定」ボタンを押下します。

- (2) グループが表示されるので、確認したいグループを  ボタンの▲／▼で検索し、「検索」ボタンを押下します。

例として「会社」を検索します。

グループとして「会社」を選択している名前が表示されます。

画面上に表示されていない場合には、 ボタンの▲／▼で検索します。

または、フリガナの頭文字が割り当てられている  ～  (ア～ワ行) のボタンを押下することにより、検索することもできます。

フリガナ検索	
グループ検索	
メモ登録	
戻る	確定

グループなし	
会社	
友達	
戻る	検索

斉藤一郎		
富士通太郎		
富士通花子		
戻る	消去	内容

4. 50音検索の場合

- (1)  ボタンを押下して、「50音検索」を選択します。

 ボタンの▲／▼で「50音検索」を選択し、「確定」ボタンを押下します。

- (2) 検索したい名前の行(該当するダイヤルボタン)を押下します。

例として「斉藤一郎」を検索します。

ダイヤルボタン  を1回押します。

「サ」から始まる名前の行が表示されます。画面上に表示されない場合には  ボタンの▲／▼で検索します。

または、フリガナの頭文字が割り当てられている  ～  (ア～ワ行) のボタンを押下することにより、検索することもできます。

メモ登録	
グループ検索	
50音検索	
戻る	確定

阿部一郎		
阿部二郎		
伊藤三郎		
戻る	消去	内容

斉藤一郎		
清水一郎		
鈴木一郎		
戻る	消去	内容

4 電話帳機能を利用する

電話帳から発信するには

- (1) P. 41 の「電話帳を検索するには」に記載してあるいずれかの検索方法で発信したい電話帳の名前を呼び出します。
例えば、「斉藤一郎」へ発信します。

「斉藤一郎」を選択している状態で「保留／発信」ボタンを押下または受話器を上げると「斉藤一郎」へ発信します。

※このとき発信は TEL1 に登録している番号を優先して発信します。
TEL2 に登録している番号を発信したい場合には一度登録している内容を確認し、TEL2 を選択して「保留／発信」ボタンを押下または受話器を上げると TEL2 の番号で発信します。

■登録内容を確認してから発信する場合

- ①「斉藤一郎」の内容を確認する。
「斉藤一郎」を選択している状態で「内容」ボタンを押下します。

- ②電話番号の内容を確認する。



ボタンの▲／▼で内容を確認します。

- ③発信したい番号（TEL1 か TEL2）を選択し、「保留／発信」ボタンを押下または受話器を上げると「斉藤一郎」へ発信します。

斉藤一郎
清水一郎
鈴木一郎
戻る 消去 内容

00312345678
呼出中

名前：斉藤一郎
フリガナ：サイトウイチロウ
TEL1：0312345678
戻る 編集

TEL1 種別：外線
TEL1 付加ダイヤル：0
TEL2：0312340000
戻る 編集

00312340000
呼出中

4 電話帳機能を利用する

電話帳の内容を修正するには

- (1) P. 41 の「電話帳を検索するには」に記載してあるいずれかの検索方法で修正したい電話帳の名前を呼び出します。
例えば、「斉藤一郎」の内容を修正します。

- (2) 「斉藤一郎」を選択し、「内容」ボタンを押下します。
「斉藤一郎」の内容が確認できます。

例として TEL1 の電話番号を編集します。

- (3) TEL1 を  ボタンの▲／▼で選択し、「編集」ボタンを押下します。
TEL1 の編集画面が表示されます。現在設定してある TEL1 の電話番号を「消去」ボタンで削除してから新しい電話番号を入力します。

新しい電話番号が入力できたら「確定」ボタンを押下します。

- (4) 再度登録内容を  ボタンの▲／▼で確認し、内容が間違っていないければ「登録」ボタンを押下します。

「登録内容を 変更しました」が表示され、メニュー表示に戻ります。

斉藤一郎
清水一郎
鈴木一郎
戻る 消去 内容

名前：斉藤一郎
フリガナ：サイトウイチロウ
TEL1：0312345678
戻る 編集

TEL1： 数
0312340000
戻る 消去 確定

名前：斉藤一郎
フリガナ：サイトウイチロウ
TEL1：0312340000
戻る 編集 登録

しばらく
お待ちください...

登録内容を
変更しました



お知らせ

- 電話帳登録制限機能を設定している場合は、電話帳の内容を修正することができません。設定はシステム管理者の方へお問い合わせください。

4 電話帳機能を利用する

電話帳の内容を削除するには

- (1) P. 41 の「電話帳を検索するには」に記載してあるいずれかの検索方法で削除したい電話帳の名前を呼び出します。
例えば、「斉藤一郎」の内容を削除します。

斉藤一郎
清水一郎
鈴木一郎
戻る 消去 内容

- (2) 「斉藤一郎」を選択し、「消去」ボタンを押下します。
「斉藤一郎」のみを削除する場合は、「1 件」を押下し、「はい」を押下します。
電話帳全件を削除する場合は、「全件」を押下し、「はい」を押下します。

消去しますか？

戻る 1 件 全件

「斉藤一郎」を削除する場合

斉藤一郎
消去しますか？

はい いいえ

全件削除する場合

全件
消去しますか？

はい いいえ

しばらく
お待ちください...

消去しました

「消去しました」と表示され、メニュー表示へ戻ります。



お知らせ

- 電話帳登録制限機能を設定している場合は、電話帳の内容を削除することができません。設定はシステム管理者の方へお問い合わせください。

4 電話帳機能を利用する

発信履歴を表示するには

発信履歴の内容を表示する場合には、以下の方法で確認することができます。

発信履歴情報は、20 件まで表示されます。発信履歴情報が 20 件以上になると古い情報から削除されます。同じ相手にかけた場合、最新の一件のみが記憶されます。

発信履歴情報が無い場合には、「履歴データがありません」と表示されます。

- (1) カレンダー表示の状態で、「発信」ボタンを押下します。

● 発 :01 の情報が表示されます。

● 発 :01 を表示中に  ボタンの▲／▼を押下すると、次の発信履歴情報を見ることができます。

- (2) 発信履歴情報を用いて発信する場合には、「保留／発信」ボタン押下または受話器を上げると相手先へ発信することができます。
例として、「富士通太郎」へ発信します。

- (3) 発信履歴情報を削除する場合には、「消去」ボタンを押下すると「1 件」もしくは「全件」を選択することができます。

「1 件」を選択した場合には、1 件分を消去するメッセージが表示されます。

「全件」を選択した場合には、全件を消去するメッセージが表示されます。

「はい」を押下すると、「消去しました」のメッセージが表示されます。

1 件分を消去した場合に、消去する履歴情報より古い履歴情報がある時は、1 件古い履歴情報が表示され、古い履歴情報がない時は、1 件新しい履歴情報が表示されます。

- (4) 発信履歴情報から電話帳に登録する場合には、「登録」ボタンを押下します。

電話帳に登録するときと同じ操作方法で登録することができます。

※電話帳登録制限機能を設定している場合は、発信履歴情報から電話帳に登録することができません。

11:59 PM 12月31日[月]

2000 発信 着歴

発 :01:04/18 02:20 PM
富士通太郎
00312345678
[戻る](#) [消去](#) [登録](#)

発 :02:04/17 08:00 PM
富士通花子
00312349000
[戻る](#) [消去](#) [登録](#)

00312345678
呼出中

消去しますか？

[戻る](#) 1 件 全件

1 件消去しますか？

[はい](#) [いいえ](#)

消去しました

発 :01:04/17 08:00 PM
富士通花子
00312349000
[戻る](#) [消去](#) [登録](#)

名前： 漢
富士通次郎 _

[戻る](#) [消去](#) [文字](#) [確定](#)

4 電話帳機能を利用する

着信履歴を表示するには

着信履歴の内容を表示する場合には、以下の方法で確認することができます。

着信履歴情報は、20 件まで表示されます。着信履歴情報が 20 件以上になると古い情報から削除されます。

着信履歴情報が無い場合には、「履歴データがありません」と表示されます。

- (1) カレンダー表示の状態で、「着歴」ボタンを押下します。

●着 :01 の情報が表示されます。

●着 :01 を表示中に  ボタンの▲／▼を押下すると、次の着信履歴情報を見ることができます。

- (2) 着信履歴情報を用いて発信する場合には、「保留／発信」ボタン押下または受話器を上げると相手先へ発信することができます。
例として、「富士通太郎」へ発信します。

- (3) 着信履歴情報を削除する場合には、「消去」ボタンを押下すると「1 件」もしくは「全件」を選択することができます。

「1 件」を選択した場合には、1 件分を消去するメッセージが表示されます。

「全件」を選択した場合には、全件を消去するメッセージが表示されます。

「はい」を押下すると、「消去しました」のメッセージが表示されます。

1 件分を消去した場合に、消去する履歴情報より古い履歴情報がある時は、1 件古い履歴情報が表示され、古い履歴情報がない時は、1 件新しい履歴情報が表示されます。

- (4) 着信履歴情報から電話帳に登録する場合には、「登録」ボタンを押下します。
電話帳に登録するときと同じ操作方法で登録することができます。

※未確認の不在着信がある場合は、カレンダー表示画面の「着歴」が網掛け表示になります。

※電話帳登録制限を設定している場合は、着信履歴情報から電話帳に登録することができません。

11:59 PM 12月31日[月]

2000 発歴 着歴

着 :01:04/18 03:20 PM

富士通太郎

0312345678

戻る 消去 登録

着 :02:04/17 08:00 PM

富士通花子

0312349000

戻る 消去 登録

00312345678

呼出中

消去しますか？

戻る 1 件 全件

1 件消去しますか？

はい いいえ

消去しました

着 :01:04/17 08:00 PM

富士通花子

0312349000

戻る 消去 登録

名前： 漢

富士通次郎

戻る 消去 文字 確定

11:59 PM 12月31日[月]

2000 発歴 着歴

4 電話帳機能を利用する

文字の入力について

ダイヤルボタンを使用してひらがな・カナ・英数字を入力することができます。

ダイヤルボタンで入力できる文字は、ボタンを押すごとに以下のように変わります。

例)「う」を入力するには、「かな」入力モードにしてダイヤルボタン1を3回押下します。

「B」を入力するには、「英字」入力モードにしてダイヤルボタン2を2回押下します。

モード ボタン	ひらがな (漢字)	カタカナ	英 字	数字
1	あ-い-う-え-お-あ-い-う-え-お-	ア-イ-ウ-エ-オ-ア-イ-ウ-エ-オ-		1
2	か-き-く-け-こ-	カ-キ-ク-ケ-コ-	A-B-C-a-b-c-	2
3	さ-し-す-せ-そ-	サ-シ-ス-セ-ソ-	D-E-F-d-e-f-	3
4	た-ち-つ-て-と-っ-	タ-チ-ツ-テ-ト-ッ-	G-H-I-g-h-i-	4
5	な-に-ぬ-ね-の-	ナ-ニ-ヌ-ネ-ノ-	J-K-L-j-k-l-	5
6	は-ひ-ふ-へ-ほ-	ハ-ヒ-フ-ヘ-ホ-	M-N-O-m-n-o-	6
7	ま-み-む-め-も-	マ-ミ-ム-メ-モ-	P-Q-R-S-p-q-r-s-	7
8	や-ゆ-よ-や-ゆ-よ-	ヤ-ユ-ヨ-ヤ-ユ-ヨ-	T-U-V-t-u-v-	8
9	ら-り-る-れ-ろ-	ラ-リ-ル-レ-ロ-	W-X-Y-Z-w-x-y-z-	9
0	[あ行、な行、ま行、や行、ら行] わ-を-ん- - - - ? - ! - 、 - 。 - □ - [か行、さ行、た行] わ-を-ん- - - - ? - ! - 、 - 。 - □ - [は行] わ-を-ん- - - - ? - ! - 、 - 。 - □ -	ワ-ヲ-ン- - - - ? - ! - 、 - 。 - □ -	[電話帳登録] - - - - ? - ! - 、 - 。 - & - / - (-) - ¥ - # - * - □ -	0
*				*
#	→ (カーソルの右移動)			#

※続けて同じボタンの文字を入力する時には、#ボタンでカーソルを一つ右に移動させてください。

※次に入力する文字が違うボタンの場合は、そのボタンを押下するとカーソルは自動的に右に移動します。

※□：空白（スペース）を示します。

5 ユーザーデータ設定を行う

自端末保留音の設定を行うには

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー

1. ユーザーデータ設定

2. NWデータ設定

戻る

確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「自端末保留音設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定

自端末保留音設定

LCDコントラスト設定

戻る

確定

4. 自端末保留音設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で保留音を選択して「確定」ボタンを押下します。
(初期値：花)

自端末保留音設定

花

クラリネットホル

戻る

確定

ユーザーデータ設定画面に戻ります。

※保留音設定中に着信すると、着信ランプと内線ランプが点滅し、着信音に切り替わります。

自端末保留音の種類を以下に示します。

1.	花
2.	クラリネットホルカ
3.	わらの中の七面鳥
4.	線路は続よどこまでも
5.	山の音楽家
6.	愛の挨拶
7.	四季より「春」
8.	ペールギュントより「朝」
9.	ガボット
10.	交響曲第6番「田園」
11.	無音

5 ユーザーデータ設定を行う

LCD コントラストの設定を行うには

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー
1. ユーザーデータ設定
2. NWデータ設定
戻る 確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「LCD コントラスト設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定
自端末保留音設定
LCD コントラスト設定
戻る 確定

4. LCD コントラスト設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で LCD のコントラストを調節して「確定」ボタンを押下します。
(初期値：5、範囲：1（薄）～8（濃）)
ユーザーデータ設定画面に戻ります。

LCD コントラスト設定
■■■■■
LCD コントラスト：5
戻る 確定

5 ユーザーデータ設定を行う

フォントの設定を行うには

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー
1. ユーザーデータ設定
2. NWデータ設定
戻る 確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「フォント設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定
LCDコントラスト設定
フォント設定
戻る 確定

4. 「フォント設定」の画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「ゴシック体」か「ボールド体」を選択して「確定」ボタンを押下します。
(初期値：ゴシック体)

フォント設定
1. ゴシック体
2. ボールド体
戻る 確定

ユーザーデータ設定画面に戻ります。

※ボールド体を選択すると、英数字、月、日および曜日（日、月…土）のフォントが、ボールド体に切り替わります。

5 ユーザーデータ設定を行う

着信音量の設定を行うには

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー
1. ユーザーデータ設定
2. NWデータ設定
戻る 確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「着信音量設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定
フォント設定
着信音量設定
戻る 確定

4. 着信音量設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で着信音量を調節して「確定」ボタンを押下します。
(初期値：3、範囲：1（小）～4（大）)
ユーザーデータ設定画面に戻ります。

着信音量設定
■■■■
着信音量：3
戻る 確定

5 ユーザーデータ設定を行う

スピーカ音量の設定を行うには

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー
1. ユーザーデータ設定
2. NWデータ設定
戻る 確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「スピーカ音量設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定
着信音量設定
スピーカ音量設定
戻る 確定

4. スピーカ音量設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼でスピーカの音量を調節して「確定」ボタンを押下します。
(初期値：4、範囲：1 (小) ～ 8 (大))
ユーザーデータ設定画面に戻ります。

スピーカ音量設定
■■■■■
スピーカ音量：4
戻る 確定

5 ユーザーデータ設定を行う

ハンドセット音量の設定を行うには

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー
1. ユーザーデータ設定
2. NWデータ設定
戻る 確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「ハンドセット音量設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定
ステレオ音量設定
ハンドセット音量設定
戻る 確定

4. ハンドセット音量設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼でハンドセットの音量を調節して「確定」ボタンを押下します。
(初期値：3、範囲：1 (小) ～ 6 (大))
ユーザーデータ設定画面に戻ります。

ハンドセット音量設定
■■■■
ハンドセット音量：3
戻る 確定

5 ユーザーデータ設定を行う

着信ランプの設定を行うには

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー
1. ユーザーデータ設定
2. NWデータ設定
戻る 確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「着信ランプ設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定
ハンドセット音量設定
着信ランプ設定
戻る 確定

4. 着信ランプ設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で着信ランプの色を1つ選択して「確定」ボタンを押下します。(初期値：赤)

ユーザーデータ設定画面に戻ります。

着信ランプ設定
1. 赤
2. 青
戻る 確定

着信ランプの種類を以下に示します。

1.	赤	5.	シアン
2.	青	6.	マゼンダ
3.	緑	7.	全色 注1)
4.	黄		

注1：7. 全色を選択すると、着信ランプは赤で点灯します。確定ボタンを押下し、実際に電話を受けると、着信ランプは全色で点滅します。

5 ユーザーデータ設定を行う

ハンズフリー（マイクオン／オフ）の設定を行うには

(CL170DB と CL170DC のみ)

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー
1. ユーザーデータ設定
2. NWデータ設定
戻る 確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「ハンズフリー設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定
着信ラフ設定
ハンズフリー設定
戻る 確定

4. ハンズフリー設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「マイク ON」か「マイク OFF」を選択して「確定」ボタンを押下します。
(初期値：マイク OFF)
ユーザーデータ設定画面に戻ります。

ハンズフリー設定
1. マイク ON
2. マイク OFF
戻る 確定

5 ユーザーデータ設定を行う

着信音色の設定を行うには

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「着信音色設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

4. 着信音色設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「内線着信」か「外線着信」を選択して「確定」ボタンを押下します。

5. 「内線着信」を選択した場合（初期値：リング着信音5）
内線着信音色設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「リング」か「メロディ」を選択して「確定」ボタンを押下します。

6. 「リング」を選択した場合は、 ボタンの▲／▼で「リング着信音」を選択して「確定」ボタンを押下します。
ユーザーデータ設定画面に戻ります。

7. 「メロディ」を選択した場合は、 ボタンの▲／▼で「メロディ着信音」を選択して「確定」ボタンを押下します。
ユーザーデータ設定画面に戻ります。

8. 「外線着信」を選択した場合（初期値：リング着信音5）

5. ～ 7. の手順と同じ作業を行います。

※着信音色設定中に着信すると、着信ランプと内線ランプが点滅し、着信音に切り替わります。

着信音色設定の種類を以下に示します。

○リング着信音

1.	リング着信音 1
2.	リング着信音 2
3.	リング着信音 3
4.	リング着信音 4
5.	リング着信音 5
6.	リング着信音 6
7.	リング着信音 7
8.	リング着信音 8
9.	リング着信音 9（注1）

注1: 無鳴音パターンであり、着信音は鳴りません。ただし、着信ランプと内線ランプは点滅します。

○メロディ着信音

1.	花
2.	クラリネットポルカ
3.	わらの中の七面鳥
4.	線路は続よどこまでも
5.	山の音楽家
6.	愛の挨拶
7.	四季より「春」
8.	ペールギュントより「朝」
9.	ガボット
10.	交響曲第6番「田園」

設定メニュー

1. ユーザーデータ設定	
2. NWデータ設定	
戻る	確定

ユーザーデータ設定	
ハズフリー設定	
着信音色設定	
戻る	確定

着信音色設定	
1. 内線着信	
2. 外線着信	
戻る	確定

内線着信音色設定	
1. リング	
2. メロディ	
戻る	確定

内線着信音色設定	
リング着信音 5	
リング着信音 6	
戻る	確定

内線着信音色設定	
花	
クラリネットポルカ	
戻る	確定

5 ユーザーデータ設定を行う

マルチライン着信履歴の設定を行うには

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー

1. ユーザーデータ設定

2. NWデータ設定

戻る

確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「マルチ着信履歴設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定

着信音色設定

マルチ着信履歴設定

戻る

確定

4. 「マルチ着信履歴設定」の画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「保存する」か「保存しない」を選択して「確定」ボタンを押下します。

（初期設定：保存しない）

マルチ着信履歴設定

1. 保存する

2. 保存しない

戻る

確定

ユーザーデータ設定画面に戻ります。

5 ユーザーデータ設定を行う

ホットラインの設定を行うには

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー	
1. ユーザーデータ設定	
2. NWデータ設定	
戻る	確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「ホットライン設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定	
マルチ着信履歴設定	
ホットライン設定	
戻る	確定

4. 「ホットライン設定」が表示されたら  ボタンの▲／▼で「有効」か「無効」を選択して「確定」ボタンを押下します。
(初期値：無効)

ホットライン設定	
1. 有効	
2. 無効	
戻る	確定

1. (有効)を選択したときは、ホットラインダイヤル登録画面が表示されます。ホットラインダイヤルを入力して「確定」ボタンを押下します。

※ホットラインダイヤル番号は、最大 32 桁まで入力できます。

ホットラインダイヤル登録	
12345_	
戻る	消去 確定

ユーザーデータ設定画面に戻ります。

※ホットラインダイヤルを有効にした場合、カレンダー表示の3行目に「ホットライン設定中」と表示されます。

11:59 PM 12月31日[月]	
ホットライン設定中	
2000	発歴 着歴

5 ユーザデータ設定を行う

付加ダイヤルの設定を行うには

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー	
1. ユーザデータ設定	
2. NWデータ設定	
戻る	確定

3. ユーザデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「付加ダイヤル設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザデータ設定	
ネットライン設定	
付加ダイヤル設定	
戻る	確定

4. 「付加ダイヤル設定」の画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「有効」か「無効」を選択して「確定」ボタンを押下します。
(初期値：無効)

付加ダイヤル設定	
1. 有効	
2. 無効	
戻る	確定

1. (有効)を選択したときは、付加ダイヤル登録画面が表示されます。
付加ダイヤルを入力して「確定」ボタンを押下します。
(初期値：0)

付加ダイヤル登録	
0_	
戻る	消去 確定

※付加ダイヤル番号は、最大5桁まで入力できます。

ユーザデータ設定画面に戻ります。

5 ユーザーデータ設定を行う

TSAPI の設定を行うには

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー

1. ユーザーデータ設定

2. NWデータ設定

戻る

確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「TSAPI 設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定

付加ダイヤル設定

TSAPI 設定

戻る

確定

4. 「TSAPI 設定」の画面が表示されたら、1. 発信音色設定が選択されていることを確認し、「確定」ボタンを押下します。
(初期値：1. 発信音色設定)

TSAPI 設定

1. 発信音色設定

戻る

確定

5. 「TSAPI 発信音色設定」の画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「リング」か「メロディ」を選択して「確定」ボタンを押下します。
(初期値：1. リング)

TSAPI 発信音色設定

1. リング

2. メロディ

戻る

確定

6. 「TSAPI 発信リング設定」または「TSAPI 発信メロディ設定」の画面が表示されたら TSAPI 発信時の音色を選択して「確定」ボタンを押下します。

(初期値：TSAPI 発信リング設定の場合 リング着信音 5

TSAPI 発信メロディ設定の場合 花)

TSAPI 発信リング設定

リング着信音 5

リング着信音 6

戻る

確定

※リング着信音およびメロディ着信音の種類については、(P. 57)
“着信音色の設定を行うには”を参照してください。

ユーザーデータ設定画面に戻ります。

TSAPI 発信メロディ設定

花

クラリネット♫

戻る

確定

単体現調について (現調およびシステム管理者の方対象)

P. 62 ～ P. 64 は現調およびシステム管理者の方を対象として記載しています。
単体現調は、本装置が正常に立ち上がる（壊れていない）ことの確認であります。
以下に確認方法について示します。

単体現調の確認方法として電話機とパソコンを接続して ping を実施します。

6.0.1 単体現調用パソコンの準備

特に規定致しませんが、電話機と LAN ケーブルで接続するため、LAN と接続できるインタフェースを持つパソコン、及び TELNET のできる OS とソフトウェアを用意してください。
ここでは、Microsoft® Windows® XP（以下 Windows XP と称す）を例に説明します。

6.0.2 電話機とパソコンの接続

電話機とパソコンを接続する場合、以下の 2 通りあります。それぞれに従って接続してください。
尚、LAN ケーブルは“ストレート”、“クロス”どちらでも使用できます。

(1) 電話機の給電に AC アダプタ (FC820AC3) を使用する場合

- ①パソコンと電話機の電源が切れていることを確認します。
- ②パソコンの 10/100BASE-TX ポートに LAN ケーブルの一方のプラグを差し込みます。
- ③電話機の裏面にある「LAN」ポートに LAN ケーブルの一方のプラグを差し込みます。
- ④電話機の裏面にある電源コネクタに AC アダプタ (FC820AC3) を差し込みます。
- ⑤ AC アダプタ (FC820AC3) をコンセントにつなぎます。約 30 ～ 40 秒で電話機は立ち上がります。
- ⑥パソコンの電源を投入します。

(2) 電話機の給電に給電 HUB (SR-S224PS1) を使用する場合

- ①パソコンと電話機の電源が切れていることを確認します。
- ②パソコンの 10/100BASE-TX ポートに LAN ケーブルの一方のプラグを差し込みます。
- ③電話機の裏面にある「PC」ポートに LAN ケーブルの一方のプラグを差し込みます。
- ④電話機の裏面にある「LAN」ポートに給電 HUB に接続された LAN ケーブルの一方のプラグを差し込みます。
電話機は給電され、約 30 ～ 40 秒で電話機は立ち上がります。
- ⑤パソコンの電源を投入します。

上記以外に、直接電話機とパソコンを接続せずに、L2 スイッチを用いて接続する方法もあります。

6.0.3 確認用パソコンの IP アドレス設定／確認

- (1) 電話機と通信できるようにするため、確認用パソコンの IP アドレスを設定します。
(Windows XP にて以下説明します。)

- ①「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリックします。
- ②「ネットワーク接続」をダブルクリックします。
- ③「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。
- ④全般の中の「プロパティ」をクリックします。
- ⑤全般の中の「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
- ⑥「IP アドレスを指定する」にチェックをし、IP アドレスを 192.168.1.x、サブネットマスクを 255.255.255.0 と入力し OK をクリックします。(x は 80 を除く 1～254 です)
電話機の IP アドレスは 192.168.1.80 (初期値) に設定されています。

- (2) 上記 (1) で設定した IP アドレスを確認します。

- ① Windows XP の場合
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
- ②「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。
- ③次のように入力し、【Enter】キーを押します。
ipconfig
- ④パソコンの IP アドレスが正常に表示されているか確認します。
(パソコンの IP アドレスが 192.168.1.100 の場合)

```
IP Address. .... 192.168.1.100
Subnet Mask. .... 255.255.255.0
Default Gateway. .... 192.168.1.1
```

- ⑤次のように入力し、【Enter】キーを押します。
exit
「コマンドプロンプト」ウィンドウが閉じます。

6 ご参考に

6.0.4 確認用パソコンから ping コマンドで確認

確認用パソコンから電話機に対して ping コマンドを使用して、単体現調範囲での正常性を確認します。(Windows XP にて以下説明します。)

① Windows XP の場合

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

② 「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。

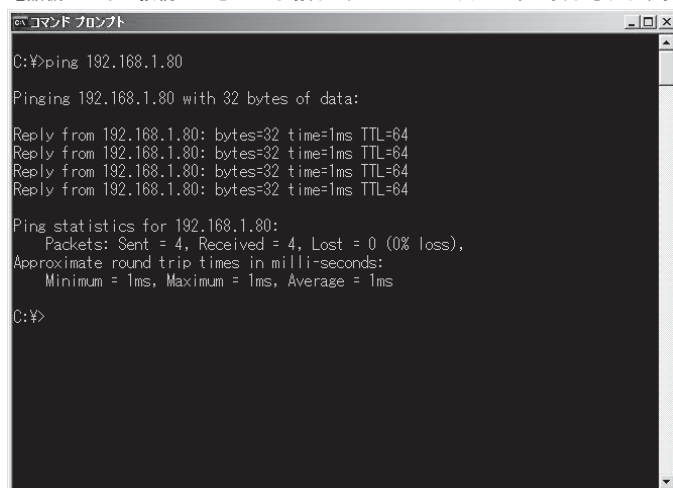
③ 電話機に対し Ping による通信確認を行います。

次のように入力し、【Enter】キーを押します。

(電話機の IP アドレスが 192.168.1.80 の場合)

```
ping 192.168.1.80
```

電話機と正常に接続ができている場合は、パソコンで次のように表示されます。



```
コマンド プロンプト
C:\>ping 192.168.1.80

Pinging 192.168.1.80 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.80: bytes=32 time=1ms TTL=64
Reply from 192.168.1.80: bytes=32 time=1ms TTL=64
Reply from 192.168.1.80: bytes=32 time=1ms TTL=64
Reply from 192.168.1.80: bytes=32 time=1ms TTL=64

Ping statistics for 192.168.1.80:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 1ms, Maximum = 1ms, Average = 1ms

C:\>
```

「Request time out」「Destination host unreachable」などと表示される場合は、電話機とパソコンとの通信が行えない状態です。以下の確認を行ってください。

◆ パソコンで IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。

◆ LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

④ 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
exit
```

「コマンドプロンプト」ウィンドウが閉じます。

以上、単体現調での確認方法です。

6 ご参考に

設定データについて

P. 65 ～ P. 67 はシステム管理者の方を対象として記載しています。

設定データは、本装置に設定したデータの内容を忘れないようにするためや、本装置が壊れた場合、電話機を交換する際に交換前と同じ状態に設定することができます。設定データを保存しておくことをお勧めします。

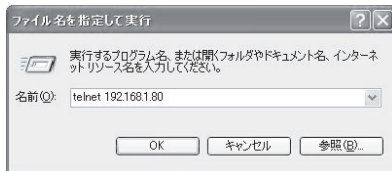
以下に設定データ確認方法、および保存方法について説明します。

6.1.1 設定内容の確認方法

- (1) 電話機とパソコンの接続方法等については、6.0.1、6.0.2、6.0.3 項を参照願います。
- (2) パソコンから電話機に対して TELNET 接続します。

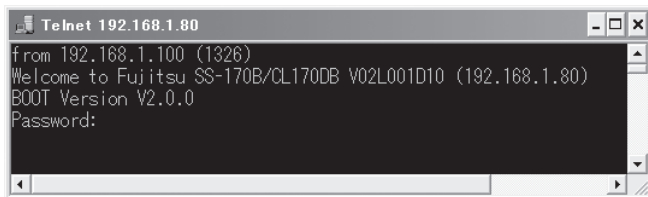
① Windows の **スタート** をクリックして、〔ファイル名を指定して実行〕をクリックします。

② 「telnet 192.168.1.80 」と入力し、OK をクリックします。

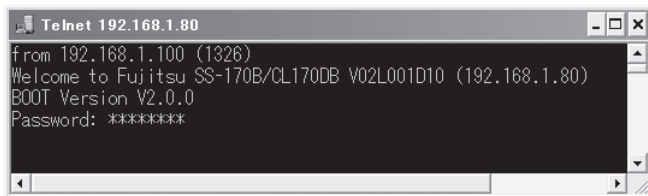


③ Password : が表示されることを確認します。

(下記表示は、例として 192.168.1.80 に接続しています。)

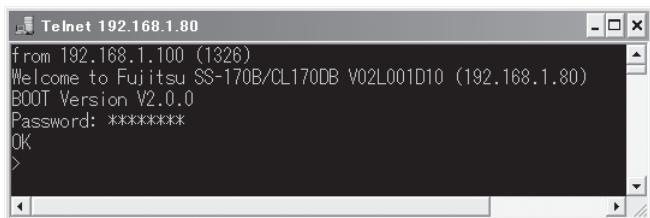


④ マネージャパスワードを入力します。(マネージャパスワード : 99999999)



6 ご参考に

⑤コマンド入力が可能になります。



⑥ configshow コマンドを実行します。

実行結果イメージ（例）を以下に示します。

```
>configshow
##### BASIC INFORMATION #####
setauto 0
setmyip 192.168.1.100
setnetmask 255.255.255.0
setgw 192.168.1.1

sethold 1
setbklight 1
settelbookip -l ibis -p ibis -s 192.168.1.5 -po 7717
download -f \apptest.bin.gz -l anonymous -p ibis -s 192.168.1.200
##### SIP CONFIG #####
setdomain sip.fujitsu.com
setregsv 2
setunregsnd 1
setregexpire 3600

setotherauto 1
setprot 0
setpsprot 1
setholddisp 1
##### FUNCTION KEY INFORMATION #####
setfkey -k 00 -f 21 -a1 16
setfkey -k 01 -f 22 -a1 15

setfkey -k 33 -f 22 -a1 19
setfkey -k 34 -f 22 -a1 24
##### DIAL PLAN INFORMATION #####
setdpln -s 01 -d 111
setdpln -s 02 -d 151

setdpln -s 21 -d 133
setdpln -s 22 -d 139
```

6 ご参考に

6.1.2 設定データの保存方法

6.1.1 で確認した内容をテキストデータとして設定データを保存します。

(1) configshow コマンドを実行します。(6.1.1 ⑥を参照願います。)

(2) 上記 (1) の結果をテキストに貼り付けて、ファイル保存します。

※ configshow コマンドの情報をを使用して電話機を設定する場合には、必ず電話機を一度初期化してから設定してください。

※ SIP 認証ユーザ設定、SIP 認証パスワード設定および IEEE802.1x 認証設定は、configshow コマンドを実行しても表示されません。configshow コマンドの情報をを使用して電話機を設定する場合には、必ず SIP 認証ユーザ設定、SIP 認証パスワード設定および IEEE802.1x 認証設定を後から設定してください。

※ configshow コマンド表示は、CR (キャリッジリターン) +LF (ラインフィード) を改行として使用し表示しています。ご使用になるエミュレータソフトによっては改行されないで表示される場合があります。ご使用になるエミュレータソフトの設定で調整をお願いします。

【ご注意】

configshow コマンドを実行した場合、電話帳情報は保存できませんので保存が必要な場合は以下のいずれかのツールを使用して保存してください。詳細な保存／復元方法については各ツールの説明書を参照してください。

- ・電話帳編集ツール
- ・保守ツール
- ・Web 保守サーバ

以上、設定データ確認方法、および保存方法です。

増設について

接続する電話システム (Server) によっては、設定を変更する必要がありますので、増設対応で CL170 シリーズを接続する場合は、システム管理者の方へお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください
ハンドセットを上げても発信音が聞こえない、または、通話中に相手の声が聞こえなくなった。	ハンドセットコードやLAN ケーブル／AC アダプターコードがはずれている。	正しくしっかり差し込んでください。 コードのプラグは深く差し込んでください。
ボタンを押してもランプがつかない。	ランプがつかないボタンを押した。	リリース、ピックアップ、再呼、転送、保留／発信のボタンはランプがつきません。ワンタッチボタンは発信時にはつきません。
ボタンのランプが消えない。	保留したままであるか、ミュートしたままである。	保留の場合は、ハンドセットを上げて通話中かどうか確認してください。 ミュートを解除するには、ミュートボタンを押してください。
ダイヤル発信時、相手につながるまで時間がかかる。	相手番号ダイヤル後、保留／発信ボタンを押していない。	ダイヤル後、保留／発信ボタンを押すことにより発信します。 ダイヤル後に保留／発信ボタンを押さないと、一定時間（約 4 秒）後に発信します。
ディスプレイに「ネットワーク登録失敗」が表示される。	電話システム (Server) への登録に失敗した。または時刻情報の入手に失敗した。	LAN ケーブルを正しくしっかり差し込んでください。 ケーブルのプラグは深く差し込んでください。

本電話機が上記以外の異常な状態になった場合には、ハンドセットの上げ下げを行ってください。

回復しない場合は、LAN ケーブルの抜き差しを行ってください。

AC アダプターをご使用の場合は AC アダプターコードの抜き差しを行ってください。

なお、電話機立ち上げには数十秒かかります。

それでも回復しない場合は、お買い上げになった販売店へお問い合わせください。

6 ご参考に

仕様

●電話機の仕様

○：機能あり，×：機能なし，OP：オプション

機能	機種	CL170DA	CL170DB	CL170DC
固定機能ボタン（上下キー含む）		8	9	8
フリーアサインボタン		12	23	36
漢字LCD		○	○	○
ハンズフリー機能		×	○	○
IEEE802.1x 認証	注 5	○	○	○
ヘッドセット接続（ミニピン）	注 1	○	○	○
PC 連携機能	注 2	OP	OP	OP
PC ポート		○	○	○
壁掛け	注 3	○	○	○
電子電話帳（1000 件）		○	○	○
発信履歴（20 件）		○	○	○
着信履歴（20 件）		○	○	○
停電機能		×	×	×
給電方式	センター給電 注 4	○（IEEE802.3af 準拠）	○（IEEE802.3af 準拠）	○（IEEE802.3af 準拠）
	AC アダプター	OP（FC820AC3）	OP（FC820AC3）	OP（FC820AC3）
定格電力（W）		約 4.2	約 4.2	約 4.2
定格電流（A）		約 0.2	約 0.2	約 0.2
寸法	幅（mm）	約 177	約 177	約 177
	奥行（mm）	約 261	約 261	約 261
	高さ（mm）	約 74	約 74	約 74
質量（g）		約 840	約 840	約 840

注 1：ヘッドセットは以下の製品が推奨品となっています。

FC760A14 ヘッドセット+変換ケーブル R（FC760CC2）

注 2：オプションで「PC 連携アプリケーションソフトウェア」をご購入すると、本製品とパソコン間で連携し、電子電話帳を使用してパソコンからの発信操作や発信履歴といった機能を利用することができます。詳しくは「PC 連携アプリケーションソフトウェア」に添付されている使用手引書をご覧ください。
「PC 連携アプリケーションソフトウェア」のご購入については、本製品をお買い上げになった販売店にお問い合わせください。

注 3：オプションで「FC770WM3（壁掛用品）」をご購入すると、本製品を壁に掛けてご使用することができます。

「FC770WM3（壁掛用品）」のご購入については、本製品をお買い上げになった販売店にお問い合わせください。

注 4：給電装置は以下の製品が推奨品となっています。

SR-S224PS1

注 5：IEEE802.1x 認証使用時、PC コネクタに接続したパソコンは使用できません。

※製品改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

●別売品一覧表

品 名	数量	備 考
AC アダプター	1 個	型名：FC820AC3
壁掛用品	1 個	型名：FC770WM3
電話機カラーシート （色：ダークグレー）	1 セット	型名：FCL170DACS（CL170DA）、FCL170DBCS（CL170DB）、FCL170DCCS（CL170DC） 50 枚 / 1 セット、本体添付と同一色
電話機カラーシート （色：ライトグレー）	1 セット	型名：FCL170DACG（CL170DA）、FCL170DBC（CL170DB）、FCL170DCCG（CL170DC） 50 枚 / 1 セット
ハンドセット	1 個	型名：FC830HS2
受話器コード	1 セット	型名：FC162A51WH、10 本 / 1 セット
LAN ケーブルロックユニット	1 セット	型名：FC820CLU1

6 ご参考に

●補修用性能部品の最低保有期間

当社は電話機の補修用性能部品を製造打ち切り後7年間保有しています。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

注 意

本製品は、海外為替及び外国貿易法が定める規制貨物に該当します。

本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

富士通株式会社

※製品改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2008年9月 T101-1164-03